

高城公民館だより 8月

第352号 2017年(平成29年)8月 高城公民館発行

【所在地】〒682-0642 鳥取県倉吉市上福田480

【開館】平日9:00~17:00(休日・祝日・盆・年末年始を除く) 【TEL】28-0950

【FAX】28-6033 【E-mail】kotakasi@ncn-k.net 【HP】http://www.ncn-k.net/kotakasi/



8月予定

日	曜日	内容(時間・場所)
1	火	みつぼし踊り練習② 19:00~20:30 ふれあいセンター
2	水	夏休み子ども料理教室 10:00~13:00
3	木	人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 未来中心等
4	金	ふれあい給食(業者弁当) みつぼし踊り準備 9:30~
5	土	打吹まつり①みつぼし踊り大会
8	火	地区公館長研 10:00~12:00 北谷公 なごもう会 13:30~ 民児協定例会 19:00~
13	日	事務室閉室(職員不在)
14	月	※貸館はできません。
15	火	事前にお問い合わせ下さい。
17	木	主事研修会 ※主事2名不在
18	金	ふれあい給食(業者弁当) 青少協役員会 19:30~
21	月	ブンムルノリ 19:00~
22	火	なごもう会 13:30~
23	水	夏休み子ども工作教室 10:00~13:00 久米中校区同研全体研修会 19:00~20:30 社公 体育部長会 19:30~
24	木	高城まつり代表者会(反省会) 19:00~
26	土	婚活参加者との交流会 19:00~北京
31	木	自治公館長会 19:00~

高城公民館でお泊り!!

セカンドスクール

【期日】10月10日(火)~14日(土) ※4泊5日
【場所】高城公民館
【対象】小学校5・6年生
【主催】高城地区青少年健全育成協議会・セカンドスクール実行委員会
※調理ボランティアとお風呂の提供を募集していますので、高城公民館へ連絡下さい。

平成29年度 高城公民館 事業計画

地域の生涯学習の拠点として、多種多様化した住民のニーズや地域の課題に応じた公民館活動を展開することで、「共助・共育・協働」できる豊かな人間関係を育み、生き甲斐と郷土に愛着が持てる人づくりを目指す

- 重点目標
- 地域の学習の拠点、人づくり・地域づくり・絆づくりの拠点としての機能を高める
 - 住民のニーズや地域課題に関する学習機会の充実を図る
 - 小・中・高を含む青少年と大人が共に参画し、活躍できる事業の充実を図る
 - 地域の人財を活かした事業を展開し地域振興推進の核となる人づくりに努める
 - あらゆる差別をなくする人権同和学習を推進し、人権尊重社会の構築を図る
 - 地域の課題を把握し、その解決に向けた事業の推進
 - 地域住民が主体となって企画・運営する事業を開催する
 - 毎年成果と課題を検証し次年度の計画に反映させる
 - 各種団体が主体的に企画・運営できる機能を構築するための支援
 - 各種団体と連携協力した事業を展開し、人づくり・地域づくりをすすめる
 - 行政との協働による公民館の環境整備や情報発信の充実
 - 魅力ある館報を発行し、公民館活動や地区の最新情勢を発信し周知を図る
 - 高齢者や障がいのある人たちが安心して利用できる環境の整備を図る



しゃもじ卓球に参加してカレーライスも食べよう

昨今の卓球ブームに乗っかり、高城ではラケットの代わりにしゃもじを使って卓球をします。沢山のご参加お待ちしております。チョイ!!

日時: 9月3日(日) 10:00~12:30

会場: 高城公民館 (9時45分までに集合してね!)

申込方法: 受付終了後 チーム分けをします(ペアで1チームです)

対象: どなたでも参加できます!(小学生から大人まで)(大人の参加大歓迎)(小さい子もカレーライスと一緒に食べよう)

定員: 先着40名 高城地区内に限らず、地区外の参加者もOK!

内容: 1位のペアのみ【賞品あり】 参加賞あり(カレーライスと冷たい飲み物)

持ち物: 運動しやすい服装と汗拭きタオル

申込: 8月21日(月) 17:00までに電話・FAXにてお申し込みください。

主催: 高城子どもいきいき実行委員会、高城地区青少年健全育成協議会、高城公民館、倉吉市教育委員会

子育て中のママ支援事業『はらっぱ』

保育園・幼稚園探しはどうされていますか?今回は、保育園と幼稚園の違いやメリット・デメリット等、空きはあるのか、金額のこと等を先輩ママさんにお聞きします。どこの園にするのか迷っているママさんは、判断材料にしてみてください。

《ねらい》地元の助言者から教わることで、地域の人材を発掘する。情報交換を通して、住民の親睦を図る。

《日時》④9月4日(月) 10:00~11:00

《場所》高城公民館

《内容》保育園・幼稚園についてのお話・質疑応答、情報交換

《対象》地域を問わず、妊婦さんや、乳幼児とその保護者。赤ちゃんと交流したい地域の大人。

《定員》特になし。

《申込》8月28日(月)までに高城公民館まで(準備の都合上、期日厳守)当日地元の先輩ママさんや他のママさんに聞きたいことがありましたら、事前にお伺いします。

《参加費》無料

《持ち物》乳幼児に必要な物(おもちゃ、おむつ、おやつ、飲み物等)、飲み物(大人の水分補給用)、筆記用具

《助言者》地元の先輩ママさん

《主催》高城公民館

7月報告

剪定・除草作業（6月24日）

公民館管理委員やボランティアの皆さんにお世話になり、高城公民館の庭木の剪定と除草をしていただきました。暑い中ありがとうございました。

安心安全は自主防災から！夏季火災出動訓練（7月15日）

下福田地内にて夏季火災出動訓練が開催され、下米積・下福田・妻ノ神・勝負谷の分団の皆さんが訓練を実施されました。

公民館研究指定事業地域課題研究の報告

29年度は1年間、公民館研究指定事業として地域課題研究を行い、地区住民と共に地域課題を共有し、課題解決方法を検討したいと思います。7月5日（水）、池田涼子さんと社会教育主事有資格者の岩田寿朗さんを講師にお迎えし、より交流を深めるためにアイスブレイクを兼ねて、軽食を作り食べながらワークショップを行いました。主な意見です。模造紙は高城公民館に掲示してありますので、ご来館の際にはぜひご覧下さい。

【高城の良い所】

*自然豊か。

【高城の良い所を活かしてこれからの高城を盛り上げる事業を考える】

*1班…桜山荘を利用して自然体験と宿泊ができる高城地区にする。（自転車競技場で自転車体験・星空体験）

*2班…ひまわり畑を作り、地区内・将来的には県外・国外から人を呼ぶ。（休耕田の利活用、花好きな人をリーダーにする、子どもと一緒にすれば親も来る、種・花びら・油採取、ひまわりアート、ひまわり迷路、翌年は種の収穫）

*3班…地域の特色を活かして高城まつりを改革する。（秋開催、会場を自転車競技場に変更、既存の事業との連携、新規事業）

【今回の講座について】

*高城の良い点がよく分かって良かった。

高城老人憩いの家・高城ふれあいセンターの利用について（お願い）

高城老人憩いの家（高城ふれあいセンター）をいつも大切に使用して頂きありがとうございます。

高城ふれあいセンターは、会合やサークル活動、学習の場として日頃利用されている施設です。

利用の方法は、高城公民館にて施設の空き状況を必ず確認しご利用ください。

利用の際には、衛生管理上感染症などの予防の為、トイレに手拭きタオルの設置はしていません。手拭きハンカチやタオル等各自で準備してください。

また、トイレの汚物入れやごみ箱などは置いていません。利用された方が持ち込まれた物や出たごみ・ダンボール等は必ず各自でお持ち帰り処分してください。

センターに放置されませんようお願い致します。

みなさんがいつも気持ちよく、気軽に利用する為には、使用後の片付けとそうじが大切です。

これからもよろしくお願ひします。

高城ふれあいセンター運営委員会

高城保育園 わんぱくクラブ 8月予定

- * 1日（火）水遊び
- * 4日（金）水遊び
- * 8日（火）水遊び
- * 18日（金）水遊び
- * 22日（火）魚作り（製作）
- * 25日（金）水遊び
- * 29日（火）水遊び



開放日…毎週火・金曜日（ただし祝日になる日は休み）

時間…午前9時30分～11時

準備物…必要に応じ、着替え・タオル・帽子・お茶等の準備をお願いします。水遊びができる用意をお願いします。

毎回、絵本の貸し出しを行っています。

保育士による育児相談を行っています。お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ…高城保育園（☎28-2202）

地域住民が子ども達にスイカを差し入れました！

保護者の方（スイカ生産者）と地域のJA青壮年部の方が、高城保育園と高城小学校に大きな大きなスイカの差し入れられました。地域住民が子ども達の喜ぶ顔を見たいと思っておられることがよく伝わる出来事ですね。

地区内の明るいニュースを館報にどんどん掲載していきたいと思っておりますので、情報提供をお願いします。



マタニティマークをご存じですか？

妊娠初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためにとっても大切な時期です。しかし、外見からは見分けがつかないため、妊婦さんにはさまざまな苦勞があります。「マタニティマーク」は妊婦さんが交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊産婦であることを示しやすくするものです。また、交通機関、職場、飲食店、その他の公共機関等が妊産婦さんにやさしい環境作りを推進するものです。地域の皆で、赤ちゃんとお母さんにとってよりよい環境を作っていきましょう。

倉吉市 保健師

乳幼児クラブ

8月は、夏休み期間中のためお休みです。

館長の雑感（奇抜な発想ですが）

七月五日に実施した「高城のこれからを考える会」のワークショップにおいて提案された「高城の良さを活かした取り組み」をベースに、「高城まつり」を【高城らしさ】と【地域おこし】というコンセプトで、新しい視点で祭りの在り方提言してみたい。

まず【高城らしさ】という視点で考えてみると、やはり高城の主要産業は農業であり、豊かな自然環境の中で育った野菜や果実は瑞々しくて美味しい。この特色を活かすには、収穫期である秋（十月下旬～十一月上旬）に、自転車競技場周辺を会場にして「高城まつり」を開催する。新鮮な野菜や果実を提供する「軽トラ市」や服部収穫祭のノウハウを導入した畑や果樹園・ハウスでの直売。そして、高城にしかない「自転車競技場」を活用し、既存事業であるウォーク&マラソンや自転車連盟の事業である「サイクリングフェスタ」の同日開催。さらに自転車競技場発着の「高城一周自転車ロードレース」や子どもたちが楽しめる「キッズコーナー」を充実させる等の新規事業の実施。もちろん例年の舞台発表等を基本においてのことであり、老若男女誰もが参加し楽しめる内容にすることで、地域だけでなく近隣からの集客を促し【地域おこし】に結び付けるという企画。名付けて【自転車とベジフルの郷たかしる祭り】

①ベジフルとは、ベジタブル（野菜）とフルーツ（果物）を併せた造語

難点である駐車スペース不足は会場変更で解決。また、現行の祭りは大人主体の企画が多く、次世代を担う子どもたちや青年層の活躍の場が少ないため、保護者や家族そろっての来場が期待できない。そこで、企画の段階で中学生や青年層の意見を取り入れてみてはどうか。

いづれにしても、住民がホストでありゲストでもある祭りにして、今以上に満足感や達成感を感じていただく事が、明日の地域づくりや生きがいに通じると考えての構想である。

なお、館内には、他の二グループの提案内容を記載した模造紙を掲示していますので、来館の際には是非ご覧ください。